



本日、2学期の終業式を行いました。今年も残すところ10日となりましたが、1学期、2学期と、保護者の皆様や地域の皆様に、様々な場面でご協力、ご支援をいただき、深く感謝を申し上げます。明日より17日間の冬休みが始まります。ここ数日は、冷え込む日が続いていますが、年末年始は、比較的暖かくなると予想されています。とはいえ、児童生徒の皆さんには、手洗いや検温等を引き続き行うことで、感染症を予防するとともに、規則正しい生活をして、クリスマス、大晦日、お正月を元気に楽しく過ごしてほしいと思います。

さて、今年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、この2学期も1学期と同様に、遠足や校外学習、修学旅行、宿泊学習を予定通り実施することができました。また、11月には3日間、「きらめき祭」を開催することができました。全学部でのステージ発表・作品展示、作業班の販売等を通して、児童生徒の皆さんの日ごろの活動の成果を、保護者の皆様に知っていただくとてもよい機会となったと思っています。保護者の皆様のご参加、ありがとうございました。次年度は、地域の皆様に公開するとともに、他学部・学年のステージ発表等も保護者の皆様にご覧いただけるよう、準備を進めてまいります。

年が明けた1月9日(火)には、児童生徒の皆さんに、新年のあいさつをすることを楽しみにしています。冬休みはご家族と一緒にゆっくり過ごしていただき、よい年をお迎えください。



共生社会実現に向けた本校独自の取組を進めています

1学期の学校だよりで、共生社会の実現に向け、その一翼を本校が担っていくため、学校組織に共生社会推進チームを新設し、専任の教員を1名配置したことをお知らせしました。本校や本校の児童生徒を知ってもらうための活動、地域と協働した授業、地域に出向いて行う授業等を2学期も行いました。具体的には、レストラン「なんどき牧場」とのメンチカツサンド作り、麴屋「米の花」との味噌作り、柳島「凧保存会」との凧作り、介護老人保健施設「茅ヶ崎浜之郷」での清掃活動といった、地域社会を第二の教室にする取組を行いました。

また、茅ヶ崎市美術館で実施した茅ヶ崎寒川地区の中学校美術作品展に、本校B中学部がはじめて作品を出展しました。加えて、「げんき村マルシェ」や「ちがさきプロレス」、寒川町「ふれあい福祉フェスティバル」においても、本校の学校紹介や周知活動等を行いました。さらに「防災共生」の考えのもと、保護者や地域の皆様、関係企業・機関の皆様と連携した災害時の対応として、「防災展示フェスタ」「車上宿泊体験」「スクールバス発災時避難訓練」等も実施したところです。ご参加、ご協力いただいた保護者の皆様には、改めて感謝を申し上げます。

こうした取組を通して、本校の児童生徒の皆さんが、地域で自分らしく暮らすことができる地域社会づくりを進め、ひいては共生社会の実現につなげていきたいと考えています。

教職員の専門性向上のための研修を実施しています

肢体不自由教育部門及び知的障害教育部門に関する専門性の向上をめざした研修を夏休み、2学期も継続して実施しました。「重度重複障害児への教育的かわり」「摂食指導」「聞こえにくい児童生徒への支援と補聴器の取り扱い」「児童生徒の実態の評価」「視線入力装置の活用」等をテーマとしました。

(校長)